

発行

在宅支援グループ みんなの手

通 信

21号

H19.10月

特定非営利活動法人

在宅支援グループ みんなの手

〒507-0016

多治見市金岡町 2-34-2

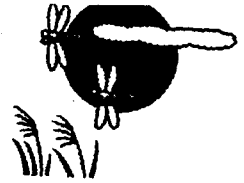
TEL (0572) 24-3798

FAX (0572) 23-8854

ホームページ

<http://www12.ocn.ne.jp/~minanote/>

グループ誕生 8周年になりました。



みんなの手は平成11年(1999)11月15日に生まれました。

介護保険を利用できないかという方々を対象に会員制の自主サービス「ホームヘルパー」の事業を始めました。会員になってくださったのは、高齢の方ばかりではなく、障がいを持った方・お子さんたち、病気で困っている方々でした。

以来、地域の方々「ひとり」の「ひとつ」のリクエストにできるだけ応えたいという思いで、サービスを少しずつ広げてきています。

平成17年12月には、高齢の方も障がいの方も一緒に利用できるデイサービスを実現することができました。この夏休みにはお子さんの利用もあってにぎやかでした。

「どこも“まつり”をしている。みんなの手もやってよ」というリクエストを春にいただきました。初めてのことなので、できるかなあと心配でしたが、賛助会員の方が「協力するよ!」と参加してくださって、準備を進めています。

いい出会いとラッキーに恵まれて続けて、ほんとうに感謝です。お忙しいところ恐縮ですが、ぜひ「みんなの手まつり」へ来ていただけませんか。(詳細は後記)

〈とき〉平成19年10月27日(土) 10:30~14:00 10時から受け付けです

〈ところ〉みんなの手 多治見市金岡町2-34-2 (地図は4ページです)

電話(0572)24-3798 FAX23-8854

10:30~11:30 秋風コンサート グランドハーブとコントラバス

11:30~14:00 食べ物いろいろ/アトラクションいろいろ

食べ物など格安で提供します。たくさん準備しますが、なくなってしまうたらごめんなさい。

準備の都合がありますので、参加して下さる方は、電話、FAX、スタッフへ直接などで連絡いただくとありがたいです。

電話はるす宛に入れて下さればいつでもつながるしくみです。

お知らせ

第4回多治見市NPO・ボランティアフェア

11月10日(土)~11日(日)

市内駅前付近数箇所

みんなの手もブース出展で参加します。

詳しくは市広報をごらんくださいね。

第19年度ふれあい作品展

11月13日(火)~11月19日(月)

午前10時から午後4時

多治見市総合福祉センター4階

みんなの手も参加します。

みんなをにぎやかなつやすみ

今年の暑い夏！みんなで輪デイサービスはとってもにぎやかに始まりました！

夏休みが始まったとたん、月・水・金はお子さんが仲間入り。スタンプの子供とも交わり、とつてもにぎやかです。

初めの二週間ほどは、他のご利用者さんも今までの様子との変わりように、びっくりやらうれしいうらで・・・少しぐったりされていたようでしたが・・・しかし経験豊富な皆さん！上手に話しかけたり、あやしたりと、面倒をみて下さいました。

朝一番はみんなで体操をしてプールへ！
なかなか外へ出たがらないご利用者さんも、ついつい外へ。水をかけられても、騒がれても、ニッコリ・・・こんな顔見たことない！

いつもアイスクリームを食べに行くご利用者さんにくっついて、子供はみんなバローへ。とても楽しそうでした。

最後は手紙を書いてくれたり、歌を歌って下さったお子さんも・・・そんなこんなで、みんなの夏の夏休みはあっという間に過ぎてしまったような気がします。

秋を迎えて、今皆さんは「なんか騒がしくてわけわからなかったけど楽しかった」「もう来ないのか？」などと言って下さいます。お子さんはと言うと・・・「冬休みくるねー♪」と・・・またにぎやかな冬を楽しむに、みんなで待っています！



人名などは仮名です

まりちゃんへ

久しぶり。最近暑いけど、夏バテしてない？私の事覚えてる？
8月6日(月)に初めてみんなの手に来た実習生の浅田ゆかりだよ。
8月6日は本当にありがとうね。結局1日しか会えなくて寂しかったよ。
でも、1日だけでもまりちゃんと出会えてよかった、って思ってる。あの日は実習1日目で、実はすごく緊張していたんだよ。でも、まりちゃんのおかげで、その緊張もやわらいでいった。まりちゃんとたくさんお話したり、ジョンと遊んだり、一緒にサーティーワンのアイス食べたり、本当に楽しかった。あと、絵もありがとう。コロヤアイ、ジョンやまりちゃんが描かれた絵は上手で、私の為に描いてくれて驚いたし、嬉しかった。私、ずとずと大切に保管ね。

あと少しで誕生日だね。HAPPY BIRTHDAY 色々おめでとうー
いつまでも元気いっぱいの優しいまりちゃんでいてほしい。
私、元気をまりちゃんの姿を見て、たくさんのパワーをもったんだよ。
それまで5日間の実習を乗り切れたんだよ。
ありがとう。

またいつか会おうね。遊びに行くね。
それまで私の事忘れないでね。
気を付けてね。まりちゃん、本当にありがとう。

浅田ゆかり

実習生からの手紙

8月6日～10日、あいち福祉医療専門学校から作業療法科第2学年の方がデイサービスの場などへ実習に来られた。高齢者、障がい者だけでなく、小1から中2のお子さんたちとも交流をしていただいた。

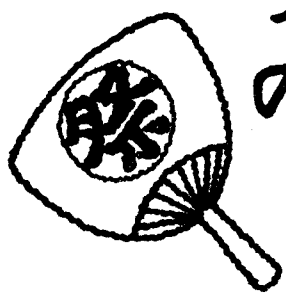
短い間だったが、実習生は、場に溶け込んでお子さんたちの心もつかんでしまった。

その様子がよくわかる手紙を了解を得て掲載させていただいた。

実習生の方は「アットホーム」をキーワードに客観的にサービスの様子を分析され、グループ全体へ新しい息吹を送り込んでくださった。紙面を借りて、感謝申し上げたい。

見にくくてごめんなさい。
カラーのとてもかわいい便せんなんです😊





みんなの手まつり

— 8周年を記念して —

平成19年10月27日(土)10:30~14:00 受付は10時から

みんなの手事務所 多治見市金岡町2-34-2

電話 0572-24-3798 FAX 0572-23-8854

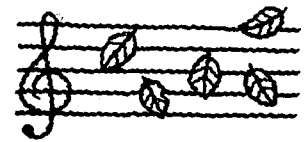
☆駐車場は多くありません。なるべく公共交通機関か乗り合わせをお願いします。

☆ちよっぴりアルコールも用意します。召し上がる方は車の運転はしないでください。

はじまりはコンサートだよ

ハープ & コントラバス

秋風コンサート



ちよっぴりセンチメンタルになる秋…そんな時

さわやかな風とやさしい音に包まれてみませんか

時間：10時30分~11時30分

場所：みんなで輪 デイサービスの部屋 無料です

プログラム

- ♪ 千の風になって
- ♪ エンターティナー
- ♪ ガバレリア・ルスティカーナ
- ♪ さんぽ・おもちゃのチャチャチャなどメドレー 他



小川真騎子の絵本
「おじいちゃんのくるま」より

〔奏者紹介〕

ハープ：小川 真騎子

4歳よりエレキ、13歳よりアコースティックハープ、20歳よりグランドハープ奏者として音楽活動始める。やわらかく甘い音色と響き、クラシックからポップスに至る幅広い楽曲に対する柔軟性と優れた音楽性は高い評価を受けており今後の活躍が期待されるハープ奏者。

コントラバス：小林 哲

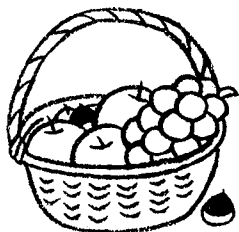
名古屋芸術大学在学中よりジャズ・クラシック・ロックなど幅広い活動をし、セッションを重ねる。1998年横浜ジャズ・プロムナードにて横浜市民賞受賞。クラシックからポップスまで幅広い音楽に対応できる奏者として、ジャンルを問わずに活動を続けている。



食べ物

11:30 ~

豚汁(サービス) おでん 味ごはん
 ぜんざい みたらし レモンケーキ 50円 ~ 150円
 菓子パン フランクフルト
 たまごパン 喫茶コーナー など



作品展 即売あり 材料費100円

製作コーナー ポプリ作り 12:30 ~

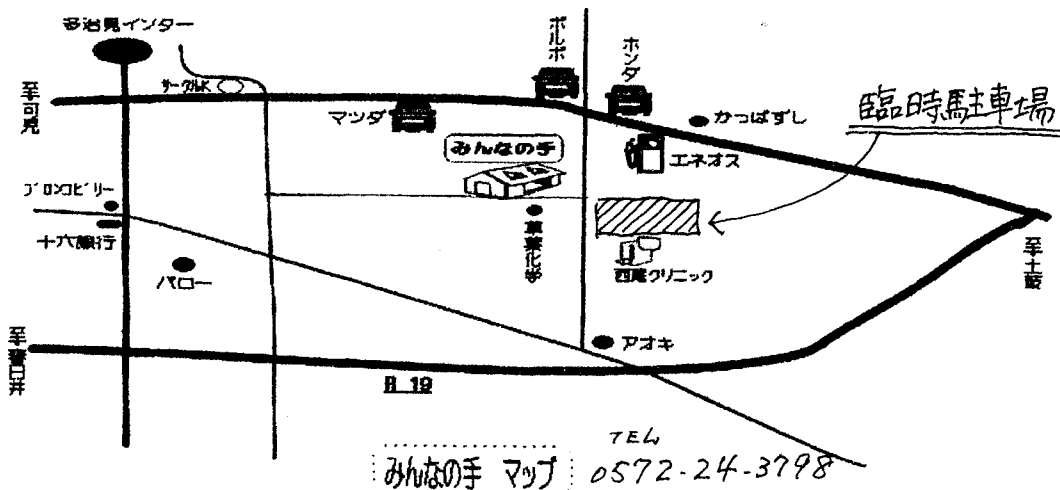
マジック 歌の部屋

13:45 ごろ

抽選(空じなし)

受付の時、
番号をお渡しします。

※ただ今、準備中です。変更があるかもしれませんので、ご了承ください。
 ※食べ物などたくさん用意するつもりですが、なくなり次第ということでご勘弁くださいね。
 ※椅子などの準備のため、参加してくださる方は連絡をいただくと大変ありがたいです。



* 市長さんに会いに行きました *



(参加:ご利用者・スタッフ 13名)

平成16年から、毎年2回ほど、市長さんへ伺い、お願いなどをしてきました。

9月4日(火) 古川雅典市長へ初めて伺いました。佐橋健康福祉部長、森福祉政策課長も同席され、和やかな中にも元気なまち多治見を実感してきました。

1.多治見市日中一時支援事業の定員緩和のお礼

みんなの手はショート1名の枠でやってきましたが、依頼が複数になることがあり、困っていました。担当課に相談し、デイサービスの定員(15名)の範囲で受け入れてもよいということになり、夏休みのお子さんの利用では本当に助かりました。

2. 夢

高齢の方も、障がいの方も一緒に「泊まる」「住まう」場ができたならあと宝くじを2年以上買ってきました。現在の賞金総額は26800円です。夢が大きすぎて見通しは立ちません。

夢のままで市長さんに相談に上がろうということになり、障がい者の方も一緒に参加してくださいました。市長さんは「夢は持ち続けましょう。市ができることは相談に乗ります」と力強く言ってくださいました。

3.深夜の移送

8月末に救急車で受診し、入院にはならず、深夜に帰宅せざるを得ないということが私たちのまわりで、2件もありました。ストレッチャーや車椅子のままで車に乗ることが必要だったので、なかなか困りました。なにかいい手立てはないか、市長さんに相談しました。



生きるものが恩返し

伊藤一浩

子供のころ、私たちのように身体に障害がある人のことを、当時の大人の人たちは「カタワ」と呼び、子供には

「悪いことをすると、ああいうふうになるよ」と、小声で言いました。

子供だった私には、それがどういう意味なのか、はっきりとは分かりませんでした。その言葉で、大きなダメージを受けたのは、むしろ私たちの親に違いありません。

『どんな身体で生まれても、自分の子供』
そう思って、育ててくれたはずですから。

あれから、呼び方も障がい者へと変わりましたが、私たちへの目は、果たしてその呼び方ほど、変わった、と言えるでしょうか。

将来が不安でいっぱいだった学齢期。あれから三十年余りが過ぎ、これからは「健常の人のふつうのこと」になるように、そうして生きていくことが、親や周りの人たちへの恩返しになると思います。





第2回勉強会とセミナーの実施について

日時 10月12日(金)午前10~12時

場所 総合福祉センター(太平町)

4F 大会議室

内容 ・第2回勉強会(参加費300円)

・市役所のおとどけセミナー

参加申し込み

電話申し込み(坂崎携帯へ)

090-9936-8412

託児申し込み

参加申し込み時に同時受付

(子ども1人500円。先着20名。

定員オーバーの際はキャンセル待ち

受付となります)



「望む会」は当事者、行政、教育そして発達支援に関わる関係者で、多治見の発達障がい者の現状と問題を共有し、どうしたら発達障がいのあるすべての人達が、地域でいきいきと生活できるかを考える会でもあります。

「望む会」は当事者、行政、教育そして発達支援に関わる関係者で、多治見の発達障がい者の現状と問題を共有し、どうしたら発達障がいのあるすべての人達が、地域でいきいきと生活できるかを考える会でもあります。

私たちは、多治見市在住の発達障がいをもつ親を中心に、多治見市に発達障害支援センター設立を目指して活動しています。

坂崎 亜矢子

発達支援センター設立をめざして



私の名前はYOU。三歳の女の子(犬)です。体重4.5kg。

飼い主さん(大嶽)や、兄貴(犬)タロー君とは違って、とてもスマートだよ。皆は美形とほめてくれます。

2年前の交通事故で右足麻痺、左足切断したけど、マイカー(車椅子)に乗って毎日元気に歩いているよ。外へ出ると嬉しくて、思いっきり走って車椅子ごとこけちゃうの!それから、少しの段差が越えられないけど、ドンマイ・ドンマイ。

私は毎日5回のオムツ交換で、膀胱にたまった尿を出してもらいます。膀胱炎予防です。

飼い主の大嶽さんは、忙しくて遊んでくれないけど、私もタロー兄さんと一緒にお年寄りや子供さんの力になりたいよ。ただいま修行中。会いに行くから待っててね。

中日新聞 9月29日

多治見で「新人生」を

後ろ足が不自由で、車いすの犬が十日前、海津市平田町今尾の「おおぞら動物クリニック」前に捨てられていた。「大切に扱われていたはず。処分されるには忍びない」と新たな飼い主を探していたところ、多治見市の介護施設に勤める女性が



「施設で癒やしのペットとして引き取りたい」との申し出があった。

引き取りを申し出たのはみんなの手の大嶽スタッフ



【スタッフ紹介】

みんなの手の仲間にしていただいて、早いもので二年がたちました。私の携帯電話のメールアドレスはドラミチャン・・・え?似てるって?

毎週二回、火曜日と水曜日に厨房で仕事をさせて頂いています。肉は全然食べないけど、皆さんの喜ぶ顔を見るのを楽しみに、しっかりお昼ご飯を作ってます。(藤本恵子)

編集後記

第1回「みんなの手まつり」の準備は着々と(?)進んでおります。今年、日本最高気温を記録した多治見ですが、おまつりの頃には、ちょうどお出かけに最適の気候となっているでしょう。皆様、ぜひぜひ足をお運びくださいね♪ (稲木)